



平成24年度 都市景観大賞

「都市空間部門」受賞地区の概要

及び

「景観教育・普及啓発部門」受賞団体の活動の概要

「都市空間部門」

受賞地区一覧

「大賞」(国土交通大臣賞)

地区名	地区面積	応募者
<small>じゅうがおか</small> 自由が丘地区 (東京都目黒区)	約 24 ha	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社 ジェイ・スピリット 自由が丘商店街振興組合
<small>こうようえんめがみやま</small> 甲陽園目神山地区 (兵庫県西宮市)	約 44.1 ha	<ul style="list-style-type: none"> 甲陽園目神山地区まちづくり協議会 西宮市
<small>ふきや</small> 吹屋地区 (岡山県高梁市)	約 7.2 ha	<ul style="list-style-type: none"> 吹屋町並保存会 高梁市

「優秀賞」(財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞)

地区名	地区面積	応募者
<small>そうせいかわどおり たぬきにじょうひろば</small> 創成川通・狸二条広場地区 (北海道札幌市中央地区)	約 8.0 ha	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市 狸二条広場運営協議会 財団法人 札幌市公園緑化協会
<small>えちぜんしよんちよう ごか</small> 越前市四町地区・五箇地区 (福井県越前市)	約 20 ha (四町地区) 約 114 ha (五箇地区)	<ul style="list-style-type: none"> 越前市 四町まちづくり協議会 五箇地区まちづくり協議会 社団法人 福井県建築士会
<small>はかたえき えきまえどおり</small> 博多駅・はかた駅前通り地区 (福岡県福岡市)	約 17.8 ha	<ul style="list-style-type: none"> 福岡市 九州旅客鉄道株式会社 博多まちづくり推進協議会
<small>かなわおんせん</small> 鉄輪温泉地区 (大分県別府市)	約 24.2 ha	<ul style="list-style-type: none"> 特定非営利活動法人 鉄輪温泉共栄会 別府市

「特別賞」(財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞)

地区名	地区面積	応募者
<small>なか ちい さとやま やひこせん</small> まちの中の小さな里山 (JR弥彦線 <small>こうかわき</small> 高架脇ポケットパーク) 地区 (新潟県三条市)	約 0.7 ha	<ul style="list-style-type: none"> ポケットパーク整備実行委員会 新潟大学大学院自然科学研究科西村伸也研究室 花と笑顔を育てる会 三条市

総評（審査委員長：陣内秀信）

社会の成熟とともに、個性的な魅力ある街づくりがより進み、都市景観への取り組みにも、今年度はさらに多彩な考えや方法が見られた。眠っていた伝統的町並みの価値を発見し磨きをかける地区、起伏と緑のランドスケープを演出する住宅地、都心部に象徴的な景観を生む公的インフラ整備、逆に小街路群の細やかなデザイン誘導で回遊性の魅力を生むまち、都心の空洞化した土地へのアートの導入、地場の産業・経済活動をモチーフとする景観づくり等、これまで以上に多様な応募があった。

大賞を受賞した3件は、現在の日本の景観づくりの先端を示す優れた成果である。岡山県高梁市の「吹屋地区」は、全国でも8番目という重要伝統的建造物群保存地区の個性をさらに育て、歴史的空間に息吹を与えつつ、山間部に溶け込む石州瓦の見事な赤い町並みを形成しており、その持続的努力が高く評価された。

西宮市の「甲陽園目神山地区」は、山麓の南斜面の豊かな自然環境をもつ住宅地の特性を最大限に育て、自主ルールである「みどりのガイドライン」を設けて、自然と共生するコミュニティの景観を見事に創り上げている。

東京都目黒区の「自由が丘地区」は、商店街、周辺住民、専門家が集まった街づくり会社を中心に、既存の小スケールの街路、路地を街並み形成指針に基づきデザイン誘導し、回遊性のある魅力的な境界を生んだ。景観づくりの新たなチャレンジとして高い評価を得た。

優秀賞のうち、駅舎から駅前通りの象徴的な空間軸に官民が一体となって魅力ある都市景観を創造した福岡市の博多地区、アンダーパスの実現で地上の車を減らし都心に快適な水辺空間を生み出した札幌市の創成川通りは、景観を重視した大スケールの公共空間づくりが日本でも可能なことを示し、今年の収穫となった。一方、湯けむりを核に景観づくりに取り込むユニークな別府氏の鉄輪温泉地区、高架鉄道下に小さな里山をつくる卓抜な構想と実践で特別賞を得た三条市の取り組みも、景観形成の多様な展開を象徴する成果で、こうした事例が切掛けとなり、さらに都市景観大賞の応募にバラエティが増していくことが期待される。

「大賞」(国土交通大臣賞)

- 地区名：自由が丘地区
- 面積：約 24ha
- 所在地：東京都目黒区
- 応募者：株式会社 ジェイ・スピリット／自由が丘商店街振興組合

■ 地区の概要：

当地区は、東京都目黒区の南端に位置し、東急東横線、大井町線が交差する自由が丘駅を中心に面的な商業集積がひろがり、周囲は低層の住宅地となっている地区である。様々な表情を持つ路地空間に路面店やテラス型の店舗が連なり、歩いて楽しい界隈となっているが、来街者の多さに対して道路が狭く歩行環境の改善が求められていた。

長年にわたり、官民一体になって道路、緑道、駅前広場の改善整備をすすめ、あわせて地区ごとに街並みルールを定め、拡充、改訂に取り組んできている。それにより、駅前広場や南口緑道は、来街者の憩いの場となり、イベント時の会場にも使われている。また、路地状の通りも限られた空間の中で個々の通りの表情を活かした歩きやすい環境づくりに継続的に取り組み、商店街振興組合や住民団体、地元大学の協力により、独自の巡回やクリーン活動、緑化など、まちの安全確保、美化にも努めている。

これらを一体のまちづくりにつなぐため、まちづくり会社を中心となって、取り組みの調整や街並み形成指針の運用を進めており、結果、歩いて楽しい街としての評価は定着し、街に開かれた店舗開発も増えてきている。

■ 審査講評：

東急沿線のお洒落な街として人気の高い自由が丘。その成功の背景に、しっかりした街づくりの継続的な努力の集積があることに驚かされた。70年代からの商店街振興組合による街づくりの取り組みをベースに、10年前からは、加盟商店街に住民も加わって街づくり会社をつくり、その下にできた街並み形成委員会の面々が奮闘し、民の力を結集してユニークな景観まちづくりに取り組んでいるのである。行政もそれに歩調を揃え、企業が応援を惜しまない。

大改造の手段は一切なく、様々な表情をもつ既存の狭い街路、路地など、その小さな空間の特徴を活かしながら丁寧に誘導、整備し、デザインし直すことで、歩いて楽しい回遊性のある都市空間と、変化に富んだ魅力的景観をつくり上げている。都心の商業空間でありながら心地よい生活感があり、随所に緑とベンチを配して、ゆっくりした時の感覚を楽しむ人々にとっての居場所を生んでいる。従来にない景観づくりの新しい領域を切り開いてきた自由が丘が獲得した質の高い都市空間の集積は、新時代の景観大賞にふさわしいものである。(陣内)



歩行空間を広げてパリアフリー化をはかった駅前広場。シンボルである女神像は移設し、広場内に設置している。



南口緑道(九品仏川緑道)。自転車を追いつくベンチ配置実験から広場化に至った。現在は、集い・憩いの場として多くの方に利用されている。また、通りに開く店舗構えが増えてきている。



サンセットエリア。環境整備に合わせ街並み誘導型地区計画やまちづくり協定を定めている。



ブルバール街。1階後退部分と道路をまたぎ官民一体の歩道空間を確保している。

平成24年度 都市景観大賞 「都市空間部門」、「景観教育・普及啓発部門」について

I. 都市空間部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） …… 1～2地区
- ② 優秀賞 …… 数地区
- ③ 特別賞 …… 内容に応じ、適宜選定

3. 対象地区の要件

本賞は、街路・公園や公開空地等の公共的空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。単独の公共施設、建築物、構造物は対象になりません。

4. 応募者の資格

良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。

※多くの関係者による共同応募が望ましいですが、単独でも応募者になれます。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察）した上で、表彰地区を選定します。

6. 審査委員

委員長	陣内 秀信	法政大学教授
委員	池邊このみ	千葉大学教授
	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	岸井 隆幸	日本大学教授
	佐々木 葉	早稲田大学教授
	高見 公雄	法政大学教授
	田中 一雄	GK デザイン機構代表取締役
	富田 泰行	トミタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役
	国土交通省	都市局公園緑地・景観課長
	国土交通省	都市局市街地整備課長
	国土交通省	住宅局市街地建築課長

（順不同、敬称略、平成24年5月現在）

II. 景観教育・普及啓発部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「景観教育・普及啓発部門」は、景観まちづくり学習などの良好な景観に関する意識啓発や知識の普及等を行っている優れた活動を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） …… 1団体
- ② 優秀賞 …… 数団体

3. 応募対象

小中学校等における景観まちづくり学習の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催や地域の景観に関する情報発信など、景観に関する教育、意識啓発、知識の普及等を地域に根差して行っており、その取り組みが地域の人々の景観への意識・関心の高揚につながっている優れた活動を対象とします。

4. 応募者の資格

- ・景観教育や景観まちづくりに関する意識啓発を行っている、学校、まちづくり組織、市民団体、これらの団体を支援している地方公共団体など
- ・地域に根差した活動で、3年以上継続して実施している団体

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、ヒアリング）した上で、表彰団体を選定します。

6. 審査委員

委員長	小澤紀美子	東京学芸大学名誉教授
委員	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	大道 博敏	江戸川区平井西小学校主幹
	福井 恒明	法政大学准教授
	国土交通省	都市局公園緑地・景観課長

（順不同、敬称略、平成24年5月現在）

■主催：「都市景観の日」実行委員会

（公財）都市計画協会、（一社）日本公園緑地協会、（独）都市再生機構、（財）民間都市開発推進機構、（公社）日本都市計画学会、（一財）都市みらい推進機構、（公社）街づくり区画整理協会、（一社）日本屋外広告業団体連合会、（財）都市づくりパブリックデザインセンター、全国景観会議、都市景観形成推進協議会、歴史的景観都市連絡協議会、全国街路事業促進協議会

■後援：国土交通省

■協賛団体：

（一財）都市文化振興財団、（一財）計量計画研究所、（財）区画整理促進機構、（社）日本交通計画協会、（社）再開発コーディネーター協会、（一社）日本造園建設業協会、（一財）公園財団、（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会、（公社）日本下水道協会、（財）自転車駐車場整備センター、（公社）立体駐車場工業会、全国土地区画整理事業推進協議会、都市再開発促進協議会

■事務局：（財）都市づくりパブリックデザインセンター

〒112-0013 東京都文京区音羽 2-2-2 アペニュー音羽 206 号 TEL 03-69122-0799 URL <http://www.udc.or.jp>